

11/5
2015年第1218号
(毎月5、15、25日発行)

大阪府歯科保険医協会
敬愛会
発行人 志岐 大
大阪府浪速区幸町1-2-33
電話(06)6568-7731(代表)
http://osk-net.org/
●定価・年間10,000円 月1,000円
●1977年5月23日第三種郵便物認可



とみだ・こうじ 1959年名古屋生まれ。名古屋大学大学院卒。大阪自治体問題研究所理事、大阪革新懇代表世話人

橋下・維新政治

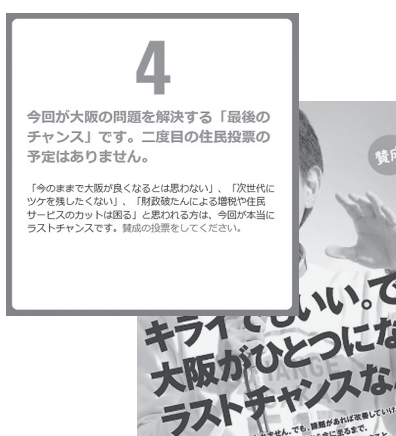
関西学院大学教授 富田宏治

解説 大阪ダブル選挙

橋下・維新政治の7年半を問う大阪府知事・大阪市長ダブル選挙が11月22日投票で実施される。選挙の意義について、関西学院大学法学部教授・富田宏治氏(政治学)に寄稿してもらった。

大阪府知事・市長ダブル選挙が迫って来た。この選挙を、橋下徹氏の府知事就任以来7年半に及んだ維新政治に終止符をうち、まっとうな府政・市政を取り戻す機会にしなければならぬ。争点は、①「多数決」の名による独裁か、議会

による「熟議」としての民主主義の回復か②新自由主義的な「市場」万能主義による暮らし・福祉・医療・教育の破壊か、都市によるまっとうな「再分配」機能の回復か③首相官邸の政治的介入を許すのか、大阪のことは大阪でという「自己決定」の回復か――の三つだ。



5月の住民投票では「ラストチャンス」「二度目の住民投票の予定はありません」と宣伝していた維新のHPとチラシ

「多数決は究極の民主主義」といって、維新政治が、この「多数」を

得るためにはウソもペテンも平然と用いる。「都構想」の住民投票で「大阪市はなくなりません」とウソをつき続けたことを忘れてはならない。そして、こうしたウソとペテンでかすめ取った多数

を楯に、府議会・市議会を「熟議」を踏みにじり、職員への思想調査など違法行為も辞さない独裁政治がまかり通ってきたのである。「多数決」の名による

な議会制民主主義を取り戻し、議会による「熟議」を通して、時間をかけてでも合意を形成していく。こうしたまっとうな政治を取り戻すことが必要だ。政治には効率やスピードよりも大切なことがある。

「市場」は悪魔の挽歌だ。伝統や文化など社会的に価値あるものを破壊しつつ、深刻な貧困と格差を生み出す。7年半の維新政治によって、府民の間に貧困と格差が拡大し、大阪経済は悪化し続けた。

その結果、緊縮財政による財政削減よりも税収減の方が遙かに上回り、府の財政赤字は急速に拡大、起債許可団体に転落してしまっただけでなく、大が税収の大幅減少をもたらしたからだ。新自由主義的な維新政治の失敗

は明らかである。都市の「再分配」機能を取り戻し、福祉・医療・教育・中小企業支援を通じて府民の暮らしと生業を支えていくことが必要だ。

オール大阪の力
維新政治は、安倍首相―菅官房長官との太いパイプを駆使して、自民党府連や公明党府本部に横やりを入れさせてきた。

「再分配」機能が回復し、住民投票に付されたのもそのせいだ。大阪のことは大阪で決める。まっとうな府政と市政を回復し、「自己決定」と住民自治を取り戻さなければならぬ。この争点の前には保守も革新もない。自民党から共産党まで、保革を超えた「オール大阪」の力で、維新政治をうち破ろう。

「多数決は究極の民主主義」といって、維新政治が、この「多数」を

得るためにはウソもペテンも平然と用いる。「都構想」の住民投票で「大阪市はなくなりません」とウソをつき続けたことを忘れてはならない。そして、こうしたウソとペテンでかすめ取った多数

を楯に、府議会・市議会を「熟議」を踏みにじり、職員への思想調査など違法行為も辞さない独裁政治がまかり通ってきたのである。「多数決」の名による

な議会制民主主義を取り戻し、議会による「熟議」を通して、時間をかけてでも合意を形成していく。こうしたまっとうな政治を取り戻すことが必要だ。政治には効率やスピードよりも大切なことがある。

「市場」は悪魔の挽歌だ。伝統や文化など社会的に価値あるものを破壊しつつ、深刻な貧困と格差を生み出す。7年半の維新政治によって、府民の間に貧困と格差が拡大し、大阪経済は悪化し続けた。

イレバデーに技工考える 懇談会に全国から84人が参加

「保険で良い歯科医療を」全国連絡会はイレバデーの10月8日、「第2回歯科技工問題を考える懇談会」を参議院議員会館で開き、大阪連絡会から戸井逸美代表世話人(協会副理事長)、西川勝美世話人(技工士連絡会)、江原豊協会理事ら9人が、全国から84人が参加した。

懇談会は、宇佐美宏保団連歯科代表が厚労省の補綴政策と国民の医療運動を報告。雨松真希人全国連絡会代表世話人、堀内昭文衆院議員(共産)、小野山幸夫奈良県歯科技工士会会長が、歯科技工を巡る運動や状況、国会質問の経緯などを報告した。

フロアからは、若い歯科技工士からCAD/CAM冠などで大手からのダンピング競争に巻き込まれており「個人の努力ではもう限界だ」との発言があった。大阪連絡会の戸井氏は「これから高齢社会であり、欠損補綴は増える」として「国民要求に基づいた運動を」と呼びかけた。

懇談会後は厚労省交渉が実施され、同省の医療課長代理と歯科保健課長代理が出席した。連絡会は、委託技工の取り引きルールや歯科技工士の労働などの実態調査に基づいた補綴の評価などを求めた。

当局は、外注技工料は自由取引で決まる、厳格に運用すると独禁法に抵触するとの見解を示した。大阪連絡会は午前中、国会議員要請を行い、田村智子参院議員(共産)と面談。長尾敬(自

民)、神谷昇(同)、宮本岳志(共産)各衆院議員は密接不可分の行為で一体的に評価する現行方式がベターだと述べた。補綴の評価では、矛盾点があれば「データを示してもらえば、検討していきたい」「限られた財源の中で何をどこに適切に配分するのかという話になるが、こちら(厚労省)としても不公平感や矛盾があることは望んでいない」と回答した。

大阪連絡会には午前中、国会議員要請を行い、田村智子参院議員(共産)と面談。長尾敬(自



歯科技工士問題の解決方法を考えた懇談会＝10月8日、東京・参議院議員会館

今日の数字
12
「マイナンバー」の桁数。番号通知が始まり、事実上の国民総背番号制に情報流出への不安の声が相次ぐ。

メディアの興亡が戦国時代末期の様相になりつつある。SNSが広まり新聞などの活字が敗走する中で、かつて最強だったテレビが寝たきり老人に辛うじて支持されている。夕食後のお笑い強要番組の後に続く深夜には、「昼夜逆転」と認定された老人がコメントの少ない海や山の景色の再放送を静かに楽しんでいる。国の将来を決める方策への重厚な論議や労作も影響力を失い、古本屋で埃を被っている。有権者の貴重な情報はコンパクトなキヤッチフレーズとしてSNSが発信する。中身の無いスローガンだけが判断材料となり、何回か騙されてもその傷に気づきもしない。徳川260年と大戦後70年の平和が日本国の体質なのか、女・子どもまで巻き込んだ狂気の狂気が隠れた本性なのか、まだ検証されていない。国に歴史があるように個人にも過去の経歴がある。君子豹変とは言え、過去から権力者たちの本質を推理することが情報多様化時代に必要だろう。

終止符の選挙

メディアの興亡が戦国時代末期の様相になりつつある。SNSが広まり新聞などの活字が敗走する中で、かつて最強だったテレビが寝たきり老人に辛うじて支持されている。夕食後のお笑い強要番組の後に続く深夜には、「昼夜逆転」と認定された老人がコメントの少ない海や山の景色の再放送を静かに楽しんでいる。国の将来を決める方策への重厚な論議や労作も影響力を失い、古本屋で埃を被っている。有権者の貴重な情報はコンパクトなキヤッチフレーズとしてSNSが発信する。中身の無いスローガンだけが判断材料となり、何回か騙されてもその傷に気づきもしない。徳川260年と大戦後70年の平和が日本国の体質なのか、女・子どもまで巻き込んだ狂気の狂気が隠れた本性なのか、まだ検証されていない。国に歴史があるように個人にも過去の経歴がある。君子豹変とは言え、過去から権力者たちの本質を推理することが情報多様化時代に必要だろう。

メディアの興亡が戦国時代末期の様相になりつつある。SNSが広まり新聞などの活字が敗走する中で、かつて最強だったテレビが寝たきり老人に辛うじて支持されている。夕食後のお笑い強要番組の後に続く深夜には、「昼夜逆転」と認定された老人がコメントの少ない海や山の景色の再放送を静かに楽しんでいる。国の将来を決める方策への重厚な論議や労作も影響力を失い、古本屋で埃を被っている。有権者の貴重な情報はコンパクトなキヤッチフレーズとしてSNSが発信する。中身の無いスローガンだけが判断材料となり、何回か騙されてもその傷に気づきもしない。徳川260年と大戦後70年の平和が日本国の体質なのか、女・子どもまで巻き込んだ狂気の狂気が隠れた本性なのか、まだ検証されていない。国に歴史があるように個人にも過去の経歴がある。君子豹変とは言え、過去から権力者たちの本質を推理することが情報多様化時代に必要だろう。

メディアの興亡が戦国時代末期の様相になりつつある。SNSが広まり新聞などの活字が敗走する中で、かつて最強だったテレビが寝たきり老人に辛うじて支持されている。夕食後のお笑い強要番組の後に続く深夜には、「昼夜逆転」と認定された老人がコメントの少ない海や山の景色の再放送を静かに楽しんでいる。国の将来を決める方策への重厚な論議や労作も影響力を失い、古本屋で埃を被っている。有権者の貴重な情報はコンパクトなキヤッチフレーズとしてSNSが発信する。中身の無いスローガンだけが判断材料となり、何回か騙されてもその傷に気づきもしない。徳川260年と大戦後70年の平和が日本国の体質なのか、女・子どもまで巻き込んだ狂気の狂気が隠れた本性なのか、まだ検証されていない。国に歴史があるように個人にも過去の経歴がある。君子豹変とは言え、過去から権力者たちの本質を推理することが情報多様化時代に必要だろう。

メディアの興亡が戦国時代末期の様相になりつつある。SNSが広まり新聞などの活字が敗走する中で、かつて最強だったテレビが寝たきり老人に辛うじて支持されている。夕食後のお笑い強要番組の後に続く深夜には、「昼夜逆転」と認定された老人がコメントの少ない海や山の景色の再放送を静かに楽しんでいる。国の将来を決める方策への重厚な論議や労作も影響力を失い、古本屋で埃を被っている。有権者の貴重な情報はコンパクトなキヤッチフレーズとしてSNSが発信する。中身の無いスローガンだけが判断材料となり、何回か騙されてもその傷に気づきもしない。徳川260年と大戦後70年の平和が日本国の体質なのか、女・子どもまで巻き込んだ狂気の狂気が隠れた本性なのか、まだ検証されていない。国に歴史があるように個人にも過去の経歴がある。君子豹変とは言え、過去から権力者たちの本質を推理することが情報多様化時代に必要だろう。

ご案内

「マイナンバー」対策講座

医療機関がとるべき対応とは

日時	11月14日(土) 午後6時～9時
会場	M&Dホール
講師	清家裕氏 (協会医業税理士団税理士)
会費	無料、会員院所未入会勤務 医1万円
定員	100人

新年号への投稿を募集

新聞部は機関紙新年号への会員投稿を募集している。

原稿は、①趣味②日常臨床③新年に思うこと④エッセイや俳句⑤旅行記⑥干支(申)に関すること――など。600字以内。

写真は、新年や冬にまつわる風景・人物・家族写真など。

郵便やファクス(写真除く)、メールで新聞部まで。原稿は顔写真を同封。11月末日必着。

ファクス 06-6568-0564

メール akira_kn@osk-net.or.jp